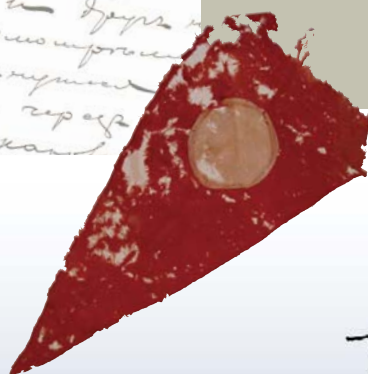


第5回企画展 テーマ展示

日露戦争と明治のジャーナリズム 2

バルチック艦隊と真之



ロジェストヴェンスキー像

2011年3月1日(火)

2012年2月下旬(予定)

休館日：毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日休館)

開館時間：午前9時00分～午後6時30分(入館は午後6時まで)

観覧料：一般400円(320円)

高校生200円(100円)

高齢者(松山市内に居住する65歳以上)200円(160円)

※中学生以下は無料

※()内は20名以上の団体割引料金



陸
Akira
Takahashi

本日
天気晴朗
波高し

坂の上の雲ミュージアム

SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地

TEL089-915-2600 FAX089-915-3600

<http://www.sakanouenokumomuseum.jp/>

施設運営・管理/四電ビジネス株式会社愛媛支店

第5回企画展 テーマ展示

日露戦争と明治のジャーナリズム 2

バルチック艦隊と真之



運送船イルツィシ (イルティッシュ) 航海灯 《津江市所蔵》

明治

治という近代国家において、新聞を中心としたメディアの成立と発展は、当時の人びとのあいだに国民意識を広めていくうえで大きな役割を果たしました。坂の上の雲ミュージアムでは、日露戦争を明治時代のジャーナリズムの視点から捉えるシリーズ「日露戦争と明治のジャーナリズム」の第2回目として、バルチック艦隊の成立と航海、それに対応した秋

山真之の思索の跡に焦点をあてます。今回の展示では、バルチック艦隊の乗組員たちが見た新聞や彼らの記録、手紙等を通じて大航海の実態を捉えていきます。同時に、現在日本の各所に残されているバルチック艦隊の痕跡を一堂にあつめて展示します。これらに加えて、バルチック艦隊について報じた記事等を手がかりにして、世界が日露戦争をどのように捉えたかを展望します。

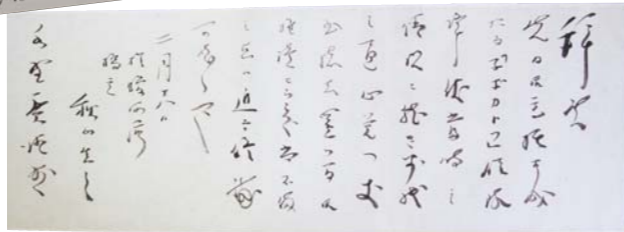


艦上まで積み上げられた石炭 《ロシア国立海軍古文書館提供》



上：家族あて
ロジェストウェンスキー提督書簡 《個人蔵》

右：水野広徳あて
秋山真之書簡（明治43年）《個人蔵》



秋山家旧蔵茶車箱



ドッガバーク事件の風刺画 《神奈川大学図書館提供》



戦艦ポロジノの模型

坂の上の雲ミュージアム

SAKA NO UENO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600
E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp URL:http://www.sakanouenokumomuseum.jp/

アクセス

- ・JR松山駅から [所要時間約10分] 市内電車（道後温泉行）——大街道下車——徒歩2分
- ・道後温泉から [所要時間約10分] 市内電車（全線）——大街道下車——徒歩2分
- ・松山空港から [所要時間約29分] リムジンバス（道後温泉行）——大街道下車——徒歩2分
- ・松山観光港から [所要時間約30分] リムジンバス（道後温泉行）——大街道下車——徒歩2分
- ・松山自動車道松山インターから [所要時間約20分]

